

3月

### 大阪の商店街に光を！(2月議会：委員会質問)

3月9日の商工労働常任委員会にて、昨年10月に続いて2度目の委員会質問を行いました。今回は将来を見据えた産業や人材の育成を軸として、**関西イノベーション国際総合戦略特区、大阪ビジネスサポートデスク、商店街の振興**について質問を行いました。特区については企業が進出する際の最大のメリットともいえる税制について、**地方税だけではなく国税分についても優遇措置の拡充を求めていく**ことが示されました。

また、商店街の振興については、地元商店街の方々の意見交換会にてご提案いただいた「**どこに相談すればいいのかわかりやすい仕組み**」を要望し、その結果、大阪府として**手続きや申請方法に関する情報を分かりやすく伝えるサービスを開始することが決定**しました。

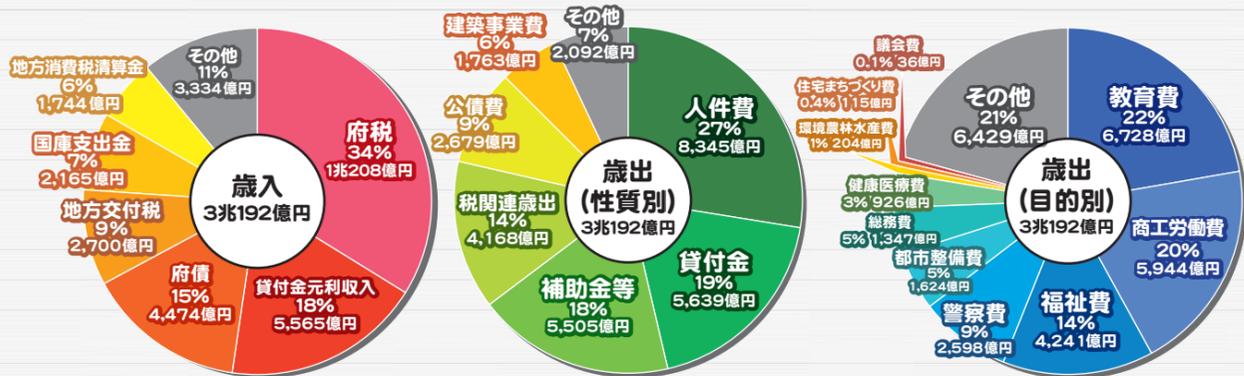
■一般質問、委員会質問の動画が大阪府議会のホームページよりご覧になれます。  
委員会質問：商工労働常任委員会 3月9日

<http://www.gikai-web.jp/dvl-osakahu>

## 大阪府の平成24年度予算(案)～大阪の新時代に向けて～

大阪府の財政は、東日本大震災の影響や海外経済の減速などにより、引き続きとても厳しい状況です。また、医療・福祉などの社会保障をはじめとして、**国に代わって地方が負担する費用が年々増加**しています。

しかし、「**大阪の再生**」を目指して、「**強い大阪**」「**やさしい大阪**」を実現していくためには、財政規律を守りながらも大阪の緊急の課題に対応していく必要があります。このため、平成24年度の予算案は、これまで進めてきた「**変革と挑戦**」の取組みを引継ぎ、さらに発展、定着させるという考え方のもと、「**収入の範囲内で予算を組む**」原則を徹底して健全で規律ある財政運営を確保しています。そして、これらの取組みなどにより生み出した貴重な財源を、真に災害に強いまちづくりや、教育・子育て、障がい者支援といった「セーフティネット」を確保するための施策、産業振興や新エネルギー、都市魅力創造といった「**大阪の成長**」を実現するための**施策**などに重点的に配分する内容になっています。



# 永藤タイムズ NAGAFUJI TIMES Vol.1

## 平成23年度府政報告 大阪再生への挑戦!

大阪維新の会 大阪府議会議員

# 永藤英機

ながふじひでき

発行日／平成24年3月26日

## 感じてください！大改革。



4月10日に投開票された統一地方選挙にて、堺区の皆様から**19538**票をいただき、大阪府議会議員に選んでいただきました。この道を目指し始めた4年前から、私が大阪府議会議員として行いたいことは変わっていません。

### 「大阪を再生して、日本全国に広げる。」

まずは大好きな大阪を、府民の皆さんが実感できるように立て直して、その成功事例を日本中に広げたい。大阪の未来のために、次の世代の日本のために永藤英機、全力で取り組みます。

### 平成23年度 府政報告

### CONTENTS

平成23年 4月	任期が始まりました!
平成23年 5月	えっ、109名から88名に?
平成23年 6月	優しい気持ちを・・・東北へ
平成23年 7月	被災地の子供たちに思い出を!
平成23年 9月	橋下知事にこんなこと言いました! ※当時
平成23年 11月	運命の11月27日
平成23年 12月	感じてください、大改革!!
平成24年 1月	大阪が選ばれました!
平成24年 2月	どうする?どうなる?堺の未来
平成24年 3月	もう迷わない?商店街の未来に光を

4月

### 任期が始まりました!

4月30日、大阪府議会議員の任期が始まりました。同僚の議員は大阪府の各地域から集まった108人。私は堺市民で堺区選出の議員ですが、地元だけが良くてもいけません。

「**大阪再生**」「**日本再生**」のために、政党や選挙区を越えて、しっかりと議論をして、勉強を重ねて広い視野で目標に向かって進みます。堺区での貴重な1議席をお預かりする4年間、私の名前を書いてくれた19538人の皆様の期待に応えるために、また違う政党を支持する方、今回選挙に行っていない方にも**大阪の未来に希望**を持ってもらえるように頑張ります。

次ページで詳しい23年度のあゆみを説明いたします!

### PROFILE プロフィール

## 永藤英機

ながふじひでき

昭和51年7月13日生まれの35歳。大阪府立大学経済学部を卒業後、株式会社オービックにてSEとして勤務。その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今ならば大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政に取り組むことを決意。

47都道府県、海外18都市を巡ることで大阪と国内外の都市を比較、大阪の可能性と希望を感じる。3年越しの想いが叶い、2011年4月、大阪府議会議員に初当選。

### ■ 府政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員

## 永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 FAX (072)344-5676

WEB : <http://nagafujihideki.com/> MAIL : [info@nagafujihideki.com](mailto:info@nagafujihideki.com)



5月

### 定数削減！国旗国家条例！

5月議会にて大阪維新の会が議員提案した「府議会議員の定数を現行の109名から88名に削減(21名減)する条例案」と「国旗を大阪府の施設に掲げること、国歌斉唱時の教職員の起立を義務付ける条例案」が賛成多数により可決されました。

議員定数の削減は大阪維新の会の統一地方選挙での「選挙公約」であり、大阪の大改革に向けて、まずは議会として自ら身を切る姿勢を示すためにも条例提案したものです。

また、国旗掲揚や国歌斉唱は、学校現場において今もお徹底されていない現状にあります。子供たちの模範となるべき教員が、個人的な主義主張を教育現場に持ち込むことは許されることはありません。学校は知育、徳育、体育だけでなく、社会のルールを教える場でもあります。

社会で決められたルールを大人であり、指導する立場の教員がしっかりと守る。

本条例は「**当たり前のこと**」、「**あるべき姿**」を示したものです。

9月

### 魅力ある、世界をリードする大阪！(9月議会：一般・委員会質問)

10月4日の本会議にて、「海外から大阪にヒト・モノ・カネを呼び込む観光戦略」をテーマとして大阪の都市魅力を高める政策について、初めての一般質問を行いました。

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録やカジノを含む統合型リゾート(IR)の誘致など、大阪の可能性を最大限発揮して、府民の皆さんに大阪の可能性を再発見してもらえるように、世界にも負けないスピード感を持った取り組みを橋下知事(当時)はじめ理事者に呼びかけました。

また、10月7、14日に開催された商工労働常任委員会では「世界をリードする大阪」について、新エネルギー産業を中心に、電気自動車(EV)、次世代エネルギーパーク、府内企業への海外展開や技術革新への支援、海外プロモーションデスクのあり方などについて質問を行いました。

■一般質問、委員会質問の動画が大阪府議会のホームページよりご覧になれます。

<http://www.gikai-web.jp/dvl-osakahu>

一般質問：本会議 10月4日  
委員会質問：商工労働常任委員会 10月7日、17日



12月

### 大阪の未来がここに！大阪府市統合本部

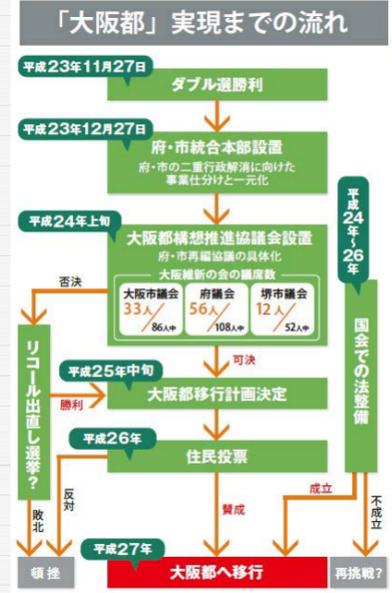
W選挙の結果を受けて、大阪府と大阪市の代表者、顧問が集まり、大阪のこれからについて議論を行う「大阪府市統合本部」が設置されました。

大阪の発展を長年にわたって妨げてきた大阪府と大阪市の二重行政・二元行政を解消して、広域自治体(都道府県)と基礎自治体(市町村・特別区)の役割分担の明確化により、**新たな仕組み、組織、機関を作り上げる**こと。

私たちはこれまで、「夢物語」と言われながらも「大阪都」の実現をうたえてきましたが、いよいよ現実味を帯びてきました。

すでに水道事業など、府と市の事業仕分けや一元化に向けた計画案を作る作業を進めています。

そして、これから大阪再生に向けた成長戦略や産業政策を再構築するなど、ヒト・モノ・カネ・情報が集まる「強い大阪」の実現を目指していきます。



平成23年 5月 5月議会

平成23年 6月 岩手被災地訪問

平成23年 7月 被災地修学旅行生受け入れ

平成23年 8月 大都市制度検討協議会

平成23年 9月 9月議会

平成23年 10月 橋下知事辞職

平成23年 11月 大阪 W 選挙

平成23年 12月 大阪府市統合本部設置

平成24年 1月 国際戦略総合特区

平成24年 2月 大都市制度推進協議会

裏面へ

6月

### 東日本大震災の被災地を訪れました

6月7日から10日までの4日間、岩手県大槌町と陸前高田市にて瓦礫の撤去や用水路の泥出しなどのボランティア活動を行うとともに、避難所への訪問や現地では対応する大阪府職員と意見交換を行いました。震災後初めて現地を訪れて、あまりにも広大な目の前に広がる光景に声も出さず、ボランティア活動を行う中でもその膨大な作業量に自分の無力さに痛感しました。被災地の復興にはこれから長い年月がかかります。大阪は「たまたま」被災しなかったというだけで、日本に暮らす以上どこでこのような災害があってもおかしくはありません。

被災地の一日も早い復興のために、同じ日本人としてできることを大阪でも積極的にやっていこうと強く感じました。



7月

### 被災地の子供たちが修学旅行で大阪に！

7月の臨時議会で、東日本大震災により大阪府に避難して来られた方々への災害見舞金の範囲を広げる条例改正案が可決され、震災の影響で修学旅行が延期や中止になっている学校に対しての修学旅行代の援助に用いられることになりました。

被災地の学校は被害を受けたことはもちろん、避難所や仮設住宅が設置されており、子供たちの学びの場としてかなり制限されている状況です。グラウンドも使えず、塞がっている教室も多くあります。

せめて、学校生活の大きな思い出となる修学旅行だけでも、大阪に来て楽しんでもらいたい。

そんな願いを込めた条例改正の結果、合計で21校(生徒2245人)の被災地の子供たちが大阪に来てくれました。

後日、来阪した学校や教育委員会、知事からも感謝の手紙が寄せられ、子供たちにとって良い思い出になったとお言葉をいただきました。

11月

### 大阪W選挙

11月27日、大阪府知事と大阪市長のW選挙が行われました。結果の出た翌日から、連日のようにテレビ・新聞では日本中を巻き込んで大阪府政・市政についての様々なニュースが賑わっています。これからの大阪の政治はかなりのスピード感で進んでいきます。

当然ながら、W選に勝利することがゴールではありません。これからがスタートです。

松井知事が初登庁した日の午後、職員に対して議場にて挨拶を行い、大阪維新の会の控室では皆、新知事の発言に耳を立てていました。自分たちが擁立した知事だからこそ、大阪維新の会には重い責任が伴います。

松井知事の府政運営に対して、大阪維新の会府議団は他党よりも厳しくチェックをしなければいけません。

馴れ合いの政治は府民の皆さんも求めているはず。大阪府民の皆さんには、皆さんが選んだ新知事の言動をしっかりとチェックし、私たちの将来がかかった大阪の政治に関心を持っていただくようお願いいたします。

1月

### 最先端企業が集まる！国際戦略総合特区

大阪、兵庫、京都の3府県・3政令市で共同申請をしていた「関西イノベーション国際戦略総合特区」が、昨年12月に正式に国の指定を受けました。

特区内では、先端医療、医薬品、バッテリー、新エネルギーなどの事業に対して**税制(地方分)や規制をその地域が独自で定めることができる**ため、大阪の成長戦略に掲げられている高い付加価値を創り出す「ハイエンド都市」、そしてアジアとの「中継都市」を目指す上で重要な役割を担うものと考えられます。

この特区での研究・開発により大阪、関西が持つ高いポテンシャルを生かして、世界に勝てる国際競争力を生み出すことが期待されます。税制や規制緩和の具体的な内容はこれから決められていきますが、大阪の未来を担う、関西イノベーション国際戦略総合特区、大注目です。

2月

### みんなで作る！これからの堺

今年2月、堺市の竹山市長は大阪都構想に向けて具体的な案を検討する「大都市制度推進協議会」に堺市は参加しないという回答を出しました。これによって大阪府と大阪市の大改革から堺市が取り残されることが懸念されます。竹山市長は「政令市として発展することが堺市の民意だと思っている」とのことですが、「堺市民の民意」は一体どこにあるのでしょうか。

東洋のベニスとまで言われるほど発展した中世の堺は、今の堺区のさらに限られた狭いエリアでした。明治時代には奈良県全域を飲み込む広大なエリア。そして6年前には美原町と合併して政令指定都市になりました。街のかたちは、その時代時代によって変わります。大切なことは、今の形にこだわり続けるのではなく、そこに暮らす人々の生活を守っていくことだと思えます。そのためにも、今だけではなく未来を見据えて、住民にとって何が最善なのか、きちんと考える必要があります。これは堺市民の皆さんにも考えていただきたい大切な問題です。

